

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
1 安全・安心まちづくり事業									
1	安全安心まちづくり推進事業	772,000	772,000	757,836	誰もが安全に安心して暮らせる「まち」を形成するために、安全安心に関わる様々な分野の団体が加盟している「宮前区安全安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地域団体、事業者、行政機関等の連携・協働により、防犯、交通安全、防災などの総合的な宮前区の安全安心のまちづくりを推進し、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいきます。	パトロール未実施の町内会・自治会には実施を働きかけていくとともに、引き続きパトロールベスト等の物品提供を継続し、地域防犯パトロール活動の拡大を図ります。一方、地域でパトロールを行っている団体には、隣接地域による合同のパトロールを推進し、地域での体感治安を向上して参ります。また、学校・地域の要望に配慮し、通学路の安全を確保するために交通安全電柱幕等を設置します。	町内会・自治会等のパトロール団体にベスト、のぼり旗等を継続的に支給するとともに、パトロール未実施の町会および地域同士のパトロールの働きかけを行いました。2月に行われた区境における高津区との合同防犯パトロールは、約150名の参加者があり5コースに分かれて実施しました。区境の防犯活動の啓発とともに、下校時間帯に合わせることで、通学路の安全を確認しながらパトロールを実施しました。	犯罪件数が種別によっては増加しており、区内での体感治安が改善していません。地域パトロールの頻度を上げていくとともに、大規模町内会は単独、中小規模町内会は合同でパトロールを行うように働きかけ、犯罪件数の減少を目指します。また体感治安を向上させる落書き消しについては、継続して実施します。	危機管理担当
2	子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	537,000	537,000	395,727	子どもたちの登下校時における安全などを地域社会全体で確保するため、区内の各学校とその保護者、地域の関係団体並びに区民、事業者、警察及び行政が一体となり、次のことを実施します。 1. 子ども安全・安心協議会、連絡会等を開催し、年間の活動方針の決定、情報・意見交換 2. 「宮前区子ども安全・安心通信」年2回発行し、区内小学校、町内会等に配布、広報 3. 各小学校区子ども安全・安心協議会が実施する「地域安全マップづくり」への支援	・宮前区子ども安全・安心協議会の総会の開催(活動報告・活動計画) ・情報交換等の連絡会の開催 ・子ども安全・安心通信の発行(年2回) ・各学校での安全・安心の取り組みの報告会の開催(各小学校毎)	・宮前区安全・安心まちづくり推進協議会総会と同時開催し、平成24年度活動報告、平成25年度活動計画を行い、宮前区全体で安全・安心のまちづくりを推進していくことが確認されました。また、2月に行った連絡会議では、各小学校の「旗振り」や「見守り活動(パトロール)」の様子等を報告し合い、地域が活動に多く参加している学校の取り組みの紹介も行いました。地域差や通学路の違いなどはあるが、今後も情報交換を行い、より効果的な活動の運営を目指すことが確認されました。	・「地域安全マップ」の作成については、需要が減少しているため、事業は縮小していきます。また、「子ども安全・安心通信」の発行については今年度までとし、市政だより(区版)の利用等による広報にしていきます。 ・各子どもに関連する施設等では、具体的な災害から子どもたちを守る取組の推進を図ります。	子ども支援室
3	防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	2,586,000	2,586,000	2,470,904	各種の防災意識普及啓発活動(防災ニュースの発行、防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。 地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び、養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋げていきます。	各事業実施の際には学校、関係団体等により多くの団体に対して、広報を行っていきます。	・防災ニュースを4半期に1回、年4回、まちづくり協議会防災部会と協働で発行することで、区民の防災意識普及啓発を進めることができました。 ・防災フェアにおいては、危機管理教育研究所の国崎江氏を招いて講演を行いました。また、「災害時の医療&お口のケア」と題して医療関係者による講演も行い、さらに、子ども向けの防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を実施し、多くの家族連れの参加がありました。 ・防災推進員養成研修を行い、新たに65名を宮前区防災推進員として登録しました。また、防災推進員フォロー研修を行うことで、防災推進員の知識を深め、地域防災力の向上を図ることができました。	避難所開設訓練で得られた課題について、今後の避難所運営会議等で解決に向けて検討していく必要があります。避難所運営会議では、地域の掲示板等を活用した避難所の案内についても、設置場所・方法等について検討していきます。そういった具体的な課題を投げかけることで、防災意識の普及啓発及び地域防災力の向上を図ることが重要です。	危機管理担当
4	地域交通環境整備事業(局区連携事業)	2,500,000	2,500,000	2,415,000	区役所・市民館・図書館の立地位置の悪さ、拠点機能が宮前平地区と鷺沼地区に分散し区内に核となる中心市街地が存在しないこと、坂道が多く徒歩や自転車を利用した移動に制約があることなどについて、公共交通(路線バス)を活用して課題の解決を図ります。	2012年度の取組結果から現状ではバス路線の新設が困難であることから、既存バス路線網を活用できる施策の概要を取りまとめます。新たに取りまとめた施策の概要について、関係局、交通事業者(交通局・東急バス)に説明し、取組を進めることについて理解を得ていきます。 また、施策の具体的な検討に必要な基礎的なデータのうち、これまで調査が行われたことがなかった区役所来庁者・市民館・図書館利用者数について実測調査を行い把握します。さらに検討の参考となる取組事例について事例調査を行います。	取組の方向性を既存バス路線網を活用した施策へ見直すことについて、関係局及び交通事業者から一定の理解を得ることができました。 区役所来庁者・市民館及び図書館利用者数調査を委託調査により実施し、平日及び土休日の来庁・利用者数を把握することができました。 また、事例調査では、江戸川区、足立区及び埼玉県三郷市における取組事例を調査し、今後の検討等に参考となる知見を得ることができました。	区役所敷地を活用した既存バス路線網の利便性の向上に関する施策について、課題整理や実現可能性等について調査を進めます。また、関係局、交通事業者及び関係機関等と必要な調整を進めます。	企画課
5	地域防災力向上事業(局区連携)	2,891,000	2,891,000	2,331,864	地域防災力の向上のためには、啓発活動も必要ですが、それだけではなく、課題に対する具体的な解決方法となる事業も必要となってきています。例えば、避難所開設における準備や避難所区域の周知徹底が挙げられます。そのため、具体的・実務的な研修形式の訓練を実施したり、避難所案内標識を補完するシール等を作成します。	○避難所開設訓練の開催 ○避難所案内表示シール等の作成	避難所開設の準備段階に着目した研修型の訓練を、宮前地区(有馬中学校)と向丘地区(犬蔵小学校)でそれぞれ1回ずつ開催しました。(参加者:有馬中33名、犬蔵小40名) 地域の避難所を案内するための簡易的な看板として、どこにでも貼り付けできるシールタイプと夜間の視認性を確保した蓄光式のボードタイプを製作しました。今後、町内会掲示板やコンビニなどに掲示することで、周知を図っていきます。	今年度作成した避難所案内表示のシール等については、今後、避難所運営会議を通して、設置場所を検討していきます。また、徒歩帰宅者対策として、区内の駅に幹線道路への案内標識を設置していきます。さらに、災害対応力の向上のため、避難所へのエアマットの備蓄を進めたり、区役所に災害時パトロール用の電動自転車を配備していきます。	危機管理担当

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の実施	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
6	地域防災力向上事業	596,000	857,000	685,373	<p>地域防災力の向上のためには、啓発活動も必要ですが、それだけではなく、課題に対する具体的な解決方法となる事業も必要となってきています。例えば、職員の災害対応力向上や備蓄物資の拡充が課題として挙げられます。</p> <p>また、課題の発見や解決のため、地域や民間との協力体制についても、引き続き強化していくことが重要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員向け危機管理能力向上研修の開催 宮前区地域防災連絡会議の継続開催 向丘出張所への補助的備蓄倉庫の整備 	<p>宮前区内在住の大学教授を講師として、職員向け危機管理能力向上研修を行いました。</p> <p>平成24年度に設立した地域防災連絡会議を継続開催し、行政と地域・企業との連携強化に努めました。</p> <p>向丘出張所にある倉庫を補助的な備蓄倉庫として活用するため、スチールラックを整備しました。</p>	<p>宮前区地域防災連絡会議については、継続して開催します。</p> <p>また、行政側の防災対応力強化のため、防災対策図を購入します。</p>	危機管理担当

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
2 地域福祉・健康づくり事業									
1	健康づくり支援事業 (区民会議課題)	618,000	618,000	283,375	健康づくりの取り組み方、健康づくり団体の紹介等を載せた情報誌を作成し、健康への関心を高め健康づくりの実践に取り組む人を増やします。 平成23年度は、健康づくりについて、各年代共通の情報誌を作成。また、公園体操マップの修正・増刷と、宮前区オリジナルストレッチ体操「風の中で」のリーフレットを増刷し、これらを活用し公園体操を区民に広げ「風の中で」を普及しました。 平成24年度は、前期高齢者向けの情報誌を作成しました。	健康づくり情報誌の内容等詳細については、健康づくり推進会議で区民と協働して検討を行います。平成25年度は、情報誌の内容を成人の若年層にしぼり、わかりやすく取り入れやすいものを工夫して作成します。	今年度は若年層向けの健康づくり情報誌「健やかライフ宮前」を1万部作成しました。作成に当たっては、健康づくり推進会議3回、作業部会1回開催し、委員の意見を基に検討しました。内容は、若いうちから健康的な健康習慣を身につけることの大切さを伝え、健康診断の活用や保健福祉センターの健康づくり事業についても盛り込んでいます。この情報誌は、宮前区内公共施設に配布(配架)するとともに、内容の意識付けを強化するため、保健福祉センターで実施する事業・講座・地域のグループ等での衛生教育の際に一言説明を加えて配布しています。	健康的な生活習慣作りの普及を更に推進していくために、作成した情報誌を有効活用できる工夫を行っていきます。具体的には、配布方法を単に公共施設等に配架するだけではなく、保健福祉センターの事業・講座、あるいは地域のグループ等に衛生教育を実施する際に、情報誌の内容について一言説明を加えて内容を強調するよう工夫する等、「手渡し・一言添えて」配布します。	地域保健福祉課
2	地域が主体となった高齢者の見守り促進事業 (区民会議課題、局区連携事業)	1,750,000	1,750,000	1,138,926	地域における高齢者見守り活動等区民の自主的な取組を支援し、高齢者が住み慣れた地域で安心してくらししていくための仕組みづくりを促進します。	・モデル地区2か所の地域住民や実施団体に対して、平成24年度に提案した支援メニューをより充実させて実施します。 ・地区ごとに(仮)地域関係団体連絡会議を開催します。 ・モデル地区2か所の(仮)見守り推進員のレベルアップを支援します。 ・3年間の集大成として、見守り活動事例集を発行します。 ・モデル地区2か所を3か所に拡大します。 ・まちづくり局との連携による「空き部屋」を活用した見守り支援を行います。 ・健康福祉局との連携による支援メニューの充実を図ります。	モデル地区3地区が、高齢者の孤立化を防ぎ、地域で安心して暮らしていくために、住民同士の顔の見える関係づくりを進め、地域主体の見守り活動や居場所づくりにつなげられるよう支援しました。支援メニュー(音楽療法、体操など毎回30名参加)を提案し、市営住宅だけでなく、広報することにより近隣の住民も参加するようになり、見守り活動が広がりました。また、空住戸提供の覚書をモデル地区とまちづくり局とで締結し、「空住戸」を活用した見守りや居場所づくりを実施しました。	平成25年度に作成した「高齢者見守り活動事例集」を活用しながら、モデル地区で実施した活動内容を他の公営住宅地域や戸建地域にもそのノウハウを紹介し、地域主体の見守り事業を区内全域で展開していきます。	地域保健福祉課
3	高齢者健康づくり支援事業 (区民会議課題)	338,000	338,000	113,690	平成20年度に公園体操マップ作成検討会を立ち上げ、平成21年度に区民と協働し公園体操マップを3千部作成しました。 平成23年度は改訂版を3千部作成・地域で配布し、公園体操の普及を行ってまます。 公園体操の普及のために、区民と協働で作成した公園マップをより活用できるように、内容の改訂を行い発行します。グループ数が増え、微修正では難しいため、現行のレイアウト・デザインを全面的に変更します。	各公園体操グループの変更点や、新たに立ち上がったグループの情報を、地域保健福祉課の地区担当保健師が集約し、地域包括支援センターや運動普及推進員と内容検討を行い、改訂原稿を作成します。 また、改訂・作成したマップを区民に配布するとともに、地域で高齢者の健康づくり・介護予防を推進していく取り組みとして、現在地域に広がっている公園体操が継続できるように、リーダーやボランティアのサポートや立ち上げ時の支援を引き続き行います。	新たに開始した公園体操の情報を加えるとともに、公園に設置されている「健康遊具」についての情報も掲載して、新たな「公園体操マップ」を12月に3,000部作成しました。	改訂した公園マップを使って、引き続き地域に普及していきます。数年ごとに確認を行い、新たな公園体操が今後も増えていくようであれば、改訂版を作成していく予定です。	地域保健福祉課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
3 総合的なこども支援事業									
1	子育て情報発信事業 (区民会議課題)	3,770,000	3,741,000	3,660,889	<p>①子育て情報誌「みやまえ子育てガイド」とことこの作成と配布 ②「みやまえ子育てガイド」とことこの補完情報誌「かわら版」の発行 ③宮前区こども子育てホームページと「とことこ」ホームページの管理運営 ④子育て情報掲示板、や情報提供コーナーでの情報提供と管理</p>	<p>・公募委員を含む、宮前区子育て情報誌「とことこ」改訂等委員会を設置し「みやまえ子育てガイド」とことこについて、今年度内に改訂版を作成します。その他の情報提供ツールの役割を整理し効果的に運営します。 ①宮前区子育て情報誌「とことこ」の改訂 ②ホームページによる情報提供の充実 ③おさんぽマップ(仮)の作成 ④「かわら版」の見直し ⑤情報コーナーの充実</p>	<p>「幸せなパパやママになるために」をテーマに宮前区子育て情報誌「とことこ」改訂編集委員会を設置し、編集会議や取材を実施し全面改訂を行いました。また、セットで使用できる「おでかけマップ」を作成し、公園などのおでかけ情報をさらに充実させました。宮前区の子育て世帯がより子育てを楽しむことができる子育てガイドとなりました。 「子育てかわら版」(年2回)を発行しましたが、「子育てかわら版」については、情報提供ツールの役割の整理により、今年度で終了としました。「情報コーナー」を区民の方に分かりやすいレイアウトに変更しました。</p>	<p>情報に変更があった場合は、一部改訂をしながら発行していきます。 子育て情報の提供について、情報を3つのツールに役割分担する試みの初年度になるため、丁寧な情報利用のレクチャーを実施し、有効な活用につなげていきます。また、区民の要望が強い、公民のイベント情報の一元化や区民の参加が可能なホームページの開設を行います。</p>	こども支援室
2	子育て支援事業 (区民会議課題)	730,000	730,000	689,393	<p>・親と子の子育て応援セミナー(連続育児講座)…宮前区内在宅での子育て中親子0～1歳児を持つ親子対象に、年9回連続講座を2回実施。 ・親と子の子育て応援セミナー(23年度OG会)…23年度受講生対象に子育て講座を企画・開催。 ・親と子の子育て応援セミナー(オープンセミナー)…広く子育て中の父親の育児参加を目的に講座を企画・開催。 ・あそびの広場…遊びの場の提供と子育て相談を同一日、同内容で年間5回実施。(5月、7月、9月、11月、1月) ・土曜日版「あそびの広場」…地域子育て支援センターを年2回土曜開所し、父親の育児参加を目的に父親の繋がりを作ります。 ・向丘出張所子育て支援イベントの開催(年2回)…向丘出張所に子育て支援コーナーを開設し、地域の親子の利用を促進し、情報交換・仲間作りの場として、定着させます。</p>	<p>・公立保育所や地域子育て支援センターを活用した取組(・親子でランチ・健康講座・プレママ、プレパパ講座、見学会・あそびの広場土曜日版・にこにこもぐもぐ) ・講座・イベントの開催(・親と子の子育て応援セミナー・あかちゃんサロン・にこにこもぐもぐ土曜日版・出張講座) ・情報発信(各事業の広報・「おやこでおでかけつうしん」の発行) ・「新たな公立保育所」事業のモデル実施と検証</p>	<p>・公立保育所や地域子育て支援センターを活用した取組が充実したことで、保育所を利用したり相談に来る地域の親子の数が増えました。 ・講座やイベント、特に出張講座を通じて、地域で子育て支援を行っている人材と連携することができ、地域の子育て力の向上につながっています。 ・情報発信を充実させたことにより、地域の親子が出かけられる場の選択肢が広がりました。 ・「新たな公立保育所」事業を通じて、入所親子と地域の親子の交流ができました。</p>	<p>・現在実施している事業内容を大きく変えることなく充実を図るため、類似の事業を整理しながら、事業に関わる人材の育成に力を入れていきます。</p>	こども支援室
3	子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	430,000	527,000	502,037	<p>区における子育てを地域社会全体で支えるため、地域の関係者があつまり、様々な子どもに関する情報交換、課題の共有、支援の取り組みなどを行い、ネットワークを強化します。</p>	<p>①子ども支援に係るネットワーク事業 ・関係機関等の代表者による子ども・子育てネットワーク会議の開催(年3回) ・実務者による子育て支援関係者連絡会(隔月)、転入者向けイベントの開催、活動団体交流会の開催 ②幼・保・小連携事業 ・小学校へのスムーズな移行のため、育ちに不安を持つ保護者の相談会の開催 ・相互理解を深めるために、保育園実習や小学校訪問の実施 ・関係担当者等の連絡会の実施</p>	<p>子ども支援に係るネットワーク事業、幼・保・小連携事業を予定どおり実施し、区内関係機関・団体の連携強化を行いました。ネットワーク会議では、3年前より、具体的なテーマを決めて、意見交換を行うことで、相互理解と課題の共有が図られ、「出来る事」「できないこと」を出し合い、手のつなぎ方を協議するなど、実践的な連携体制の整備にもつながってきています。また、共に、子育てイベントを実施することや、共通の研修を行うことにより、課題の共有の強化が行われました。</p>	<p>ネットワーク会議では、情報交換をテーマを決めて実施することで、各機関等の具体的な役割や機能もわかって良いという感想が多いので、継続して、実施していきます。また、幼・保・小連携事業では、この課題にたいして、それぞれの当事者意識をどう育てていくかが課題ですが、内容検討は行いながら、実施回数等については、現状維持で進めていきます。</p>	こども支援室
4	包括的なこども子育て支援事業	279,000	279,000	248,258	<p>「こどもサポート南野川」を地域の拠点とし、子ども・子育て支援ニーズにきめ細やかに対応していきます。 ①子育て支援サロンやイベントの実施(子育てサロン、いっしょに遊ぼう、いっしょに作ろう、季節のイベントの開催) ②フリースペースの提供 ③こども・子育て相談の実施 ④子育て自主グループなどへの貸しスペースの提供 ⑤子ども・子育て情報の提供 ⑥不登校、ひきこもり等の子どもへの居場所の提供、生活、学習支援 ⑦子ども・子育て支援の講座・イベントの開催</p>	<p>・子育て支援の拠点として、地域の子ども、子育て関係機関・団体の情報交換を行い、地域での課題や情報の共有を図ります。 ・特別な支援が必要な子どもについて、専門職等による効果的な支援のスーパーバイズの実施により、ケアマネジメントが出来る仕組みづくりを行います。 ・関係局等と「不登校・ひきこもり対応検討連絡会議」(仮称)等により、予算や事業のあり方・方向性などを検討します。</p>	<p>乳幼児のフリースペースの提供(週4日)、子育てサロン等の開催、季節のイベントの実施により、育児の孤立化や不安の解消を行いました。</p>	<p>広報の強化と「学齢期以上の子どもの居場所づくり」等とも連携し、環境整備や活動の工夫を行い、利用促進を図ります。</p>	こども支援室

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
5	包括的な子ども子育て支援事業(局区連携事業)	4,635,000	4,635,000	4,615,000	<p>「子どもサポート南野川」を地域の拠点とし、子ども・子育て支援ニーズにきめ細やかに対応していきます。</p> <p>①子育て支援サロンやイベントの実施(子育てサロン、いっしょに遊ぼう、いっしょに作ろう、季節のイベントの開催)</p> <p>②フリースペースの提供</p> <p>③子ども・子育て相談の実施</p> <p>④子育て自主グループなどへの貸しスペースの提供</p> <p>⑤子ども・子育て情報の提供</p> <p>⑥不登校、ひきこもり等の子どもへの居場所の提供、生活、学習支援</p> <p>⑦子ども・子育て支援の講座・イベントの開催</p>	<p>・子育て支援の拠点として、地域の子ども、子育て関係機関・団体の情報交換を行い、地域での課題や情報の共有を図ります。</p> <p>・特別な支援が必要な子どもについて、専門職等による効果的な支援のスーパーバイズの実施により、ケアマネージメントが出来る仕組みづくりを行います。</p> <p>・関係局等と「不登校・ひきこもり対応検討連絡会議」(仮称)等により、予算や事業のあり方・方向性などを検討します。</p>	<p>・利用者数の増加により、スタッフ体制を2名から3名に増員し、活動内容や支援が充実されました。</p> <p>・保健福祉センター児童家庭課の専門職が個別ケースや保護者への支援に参加し、専門的な視点からのアドバイスや、個別ケース支援の充実が図られました。</p> <p>・利用者対象のアンケートを実施し、利用者の実態や利用者の目線での意見が寄せられました。</p> <p>・スーパーバイズの実施により、事業の根幹となる「支援の在り方」について役割や立場を超えて確認することができました。</p> <p>・関係機関と「居場所フォーラム」を開催し、事業の広報と、連携体制が強化されました。</p>	<p>・「課題のある子どもの居場所」づくりについて関係機関と連携の強化を図ります。</p> <p>・アンケート結果などを参考にして、活動内容を充実します。</p> <p>・定期的なスーパーバイズの実施により、事業の充実を図ります。</p>	子ども支援室
6	子育て支援食育推進事業	150,000	150,000	143,360	<p>①地域子育て支援センター2箇所にて、子育て支援食育講座「にこにこもぐもぐ」をそれぞれ年4回開催、離乳食の作り方の実演を盛り込んだ講座とします。</p> <p>②給食直営保育所での土曜日版「にこにこもぐもぐ」を2地区で年1回ずつ開催、離乳食の試食ができる機会にします。</p> <p>③外部講師を招いた研修会を計画・参加を呼びかけ人材を育成を行います。研修会には民営保育所の栄養士にも参加を呼びかけ人材育成につなげます。食育講座の広報、人材育成講座の企画・運営にあたっては地域保健福祉課栄養士が行います。</p>	<p>①子育て支援食育講座「にこにこもぐもぐ」を地域子育て支援センター2か所で4回ずつ実施します。</p> <p>②土曜日版「にこにこもぐもぐ」として保育所2か所で1回ずつ実施します。</p> <p>③研修会として、講演会・調理実習・食育活動グループの取り組みを実施します。</p>	<p>・調理の実演や試食を入れたことにより、食に対する不安や悩みの解消につながりました。地域活動栄養士と連携して実施したことで、個別相談の時間が多くとれ、また人材育成につながりました。</p> <p>・土曜日版では、保育士と連携し食べさせ方のポイントが伝えられ、また、父親の参加も多く父親の育児参加への啓発にもつながりました。</p> <p>・各種の研修や連携会議を通して、区内栄養士が地域の課題を共有することができ、人材の育成にもつながりました。</p>	<p>子育て支援食育講座「にこにこもぐもぐ」と土曜日版「にこにこもぐもぐ」での内容の充実を図ります。</p> <p>外部講師を招いた研修会を計画し、公営・民営保育所・地域栄養士の人材育成を行います。宮前区栄養士会議を開催し、民営保育所栄養士と一緒に離乳食のパフレットを作成することにより、人材育成につなげ、支援に関わる人と場を増やします。</p>	子ども支援室

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
4 環境まちづくり事業									
1	花と緑のあふれる 住みよいまちづくり 事業	979,000	979,000	921,923	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援機能を有する宮前区まちづくり協議会を通じて、区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗などを提供します。 ・市の北の玄関口としての東名川崎IC周辺の景観整備を行い、区のイメージアップを図ります。 ・事業推進にあたっては、公益財団法人川崎市公園緑地協会や道路公園センターとの連携を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を支援 ・緑化活動団体の活動の活性化を図るため、緑化促進に関する講座、交流会等を開催 ・市の北の玄関口としての東名川崎IC周辺の景観維持の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の緑化活動団体に対する花苗支援では、前年度より5団体多い29団体に支援を実施し、制度の浸透や地域の緑化推進、団体活動の活性化を図ることができました。 ・また、支援団体を対象に「花とみどりの支援説明会」を開催し、活動継続のためのアドバイスや花壇の美しい見せ方など、今後の活動に参考となる講座を開催するとともに、団体同士の交流を図ることができました。 ・東名川崎IC前の花壇を自主管理する団体に対し、春と秋各1回の花苗支援を実施し、周辺の景観向上や区のイメージアップにつなげることができました。また、花苗の植え付け作業時には、地元子ども会やフロントタウンと連携協力し、地域ぐるみのイベントとすることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の緑化活動団体に対する支援だけでなく、管理組織が未設置の公園等において、新たに花壇の維持管理を行う団体の募集や支援を実施することで、公園の地域管理の推進を図っていきます。 	地域振興課
2	ecoゴコロプロジェクト 推進事業	1,663,000	995,000	894,600	<p>多様な主体による環境への取組が求められていることから、継続的で実践的な取組を推進するため、市民活動団体などの区民主体のネットワークによる取組を支援します。</p> <p>また、区役所庁舎の省エネ化を図り、その取組を区民に紹介することで、環境への意識啓発を行います。</p>	<p>環境に係る団体間のネットワークによる主体的な活動を促していくため、環境配慮の取組の支援を行います。</p> <p>区役所庁舎の窓ガラスへ遮熱フィルムの施工を行い、その取組を区民向けに啓発することで、区民の省エネ意識の高揚を図ります。</p>	<p>24年度に実施したイベント「みやまえJUN・CANまつり」の実行委員会メンバーにより、環境団体のネットワーク「みやまえJUN・CAN会議」が組織され、各団体の活動や課題などの情報共有・勉強会や、様々な分野の市民活動団体が集まるイベントへの出展などが行われました。</p> <p>区役所庁舎の窓に遮熱フィルムを施工し、節電・省エネ効果を図るとともに、市政だよりやパネルの設置により区民に向けた啓発を行いました。</p>	<p>環境に係る団体間のネットワークづくりを促進させるという目的は達成し、ネットワークによる主体的な活動の展開が出来たため、今後は必要に応じてその活動の支援を行っていきます。</p> <p>また、「区役所庁舎エコ化事業」として、引き続き区役所庁舎の省エネ化を推進し、区民等への啓発を図ります。</p>	企画課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の実績	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
5 地域資源活用事業									
1	みやまえロビーコンサート 開催事業	2,843,000	2,142,000	2,142,000	<ul style="list-style-type: none"> 平成5年10月から毎月1回区役所2階ロビーでコンサートを開催 来場者数は毎回130人前後、毎回レベルの高い奏者を迎え様々な音楽を提供 平成24年度からは区役所2階ロビー以外の行政施設等でも巡回コンサートとして開催 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回コンサートを開催 巡回コンサートを昨年度より1ヶ所多い4ヶ所で開催 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に開催する貴重なコンサートとして、毎回130名程度の来場者がありました。区役所等でコンサートを開催することで、気軽に足を運んでもらい、行政施設に対する親近感を持ってもらう良い機会とすることができました。 巡回コンサートを昨年度より1ヶ所多い4ヶ所(アリーノ、青少年の家、菅生こ文、向丘出張所)で開催しました。区役所周辺以外の地域で開催することで、より幅広い地域の区民に気軽に音楽を楽しんでもらう機会を創出することができました。 また、開催施設の広報紙でコンサート開催周知をしてもらうなど、開催施設と連携を図るとともに、情報の共有を図ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> コンサートの更なる定着を図るとともに、多彩なジャンルの音楽の提供や演出の工夫等を通して、新たな来場者の発掘を図っていきます。 	地域振興課
2	みやまえ太鼓ミーティング 開催事業	2,119,000	2,119,000	1,860,963	<ul style="list-style-type: none"> 地域に残る民俗芸能の舞台や区内で活動する和太鼓グループの演奏のほか、太鼓体験、ワークショップ、浴衣の着付けコーナー等の開催 平成11年度から、地域の伝統文化に根ざしたイベントとして開催。夏のイベントとして地域に定着 	<ul style="list-style-type: none"> 第15回という節目の大会に応じた演出を行います。 区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。 区内の中学校や保育園等にも協力してもらうことで、世代間交流を促進します。 気軽により多くの来場者等に鑑賞してもらうため、鑑賞は無料とします。 ゲスト出演者を招くことで、イベントの活性化や参加団体のレベルアップを図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 公募による区内の太鼓グループの参加だけでなく、オープニングに地域に伝わる民俗芸能の舞台を取り入れるとともに、例年より多い2組のゲスト奏者を招き、伝統文化の継承や演奏技術の向上、団体間の交流促進につなげることができました。 太鼓の演奏だけでなく、子ども向け太鼓体験コーナーやワークショップの開催など、伝統文化への意識や技術の向上を図ることができました。 区内の保育園児による荒馬踊りの参加や中学校の生徒による「宮前ねふた」や提灯の作成など、地域との交流や世代間の交流を図ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 出演団体同士だけでなく地域や学校等ともネットワークが構築されており、宮前区を代表するイベントに成長しています。今後も継続して開催し、これまで以上に地域に根ざしたイベントを目指していきます。 	地域振興課
3	しあわせを呼ぶコンサート 開催事業	2,661,000	2,661,000	2,653,254	<p>音楽を通じて、障害者と健常者との相互理解と交流を深めるとともに、障害者の社会参画等を推進します。コンサート第1部では宮前区内の障害者施設・作業所へ通所する方々の合唱。第2部では普段触れにくいプロの演奏家による質の高いステージの提供。あわせて、施設等が作成した商品等の展示・販売。</p>	<p>事業の企画・運営について、宮前区障害者福祉施設・作業所等連絡会、委託事業者等と協議の上実施していきます。</p>	<p>コンサートの企画、準備、練習、当日の運営から次年度へ向けた検討と、各施設・作業所の方々とコンサートプロデュース事業者、区役所の3者による検討・会議を重ね盛會に開催することが出来ました。また、練習等を通じた交流や、各報道機関を通じた広報等により、社会福祉の啓発・増進に寄与するとともに音楽のまち事業の推進を図りました。</p>	<p>平成26年度は市制90周年事業と第15回という節目の年に当たり、この間の成果を振り返るとともに、多くの区民に広く開かれた事業として取り組みを進めていきます。また、引き続き社会福祉の増進と音楽のまち事業の推進を図る事業として発展させていきます。</p>	地域振興課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
4	地域の魅力発信事業	1,110,000	1,110,000	1,099,112	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区歴史文化調査委員会と協働し、まち歩きマップの作成及び宮前歴史ガイドを活用した区内の歴史・文化を巡るウォークイベントの開催 宮前区まちづくり協議会と協働し、区内の直売所を紹介した農産物直売所マップの作成及びそれを活用した農家巡りウォーキングの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史ガイドを活用したウォーキングイベントの実施 ウォーキングイベントにおける他区との連携 農産物直売所マップの改訂 農産物直売所マップを活用したウォーキングイベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区歴史文化調査委員会と協働し、春に2回(1回は悪天候により中止)、秋に1回のガイド付きのウォーキングイベントを開催しました。毎回、定員を超える応募があり、参加者の地域の歴史・文化に対する関心の高さが窺えました。 高津区と共催し、両区にまたがる大山街道を2日間に渡り歩くガイド付きのウォーキングイベントを初めて開催しました。宮前区以外の歴史や文化に触れる貴重な機会とするともに、区民同士の交流を図ることができました。 区内の直売所を掲載し農産物直売所Guide&Mapを改訂し、前回より5件多い計57件の農家情報を掲載するとともに、関連事業や農産物カレンダーの情報掲載、レイアウト変更などにより、より区民が活用しやすいマップとすることができました。 農産物直売所Guide&Mapを活用した農家巡りウォーキングを春に1回、秋に1回開催しました。実際に農家を訪れ、農作物に関する話や都市農家の状況等についての話を聞くことができるため、地域の農に対する意識向上につなげることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 好評の「宮前歴史ガイド」を活用したウォーキングイベントを継続するとともに、「宮前歴史ガイド」の改訂についても検討していきます。 引き続き農を重要な地域資源と捉え、農産物直売所Guide&Mapを活用したまち歩きイベントを開催していきます。 	地域振興課
5	みやまえ映像コンクール支援事業	805,000	805,000	769,387	平成19年度宮前区事業提案制度にて採用され、平成21年度より地域課題対応事業となりました。事業は区内の中学生に、宮前区を知るきっかけとなるようなテーマでプロの映画人に指導を受けながら区内を撮影してもらいます。撮影した映像を映像コンクール受賞者OB・OGやIT関連企業の方からの指導をもらいながらパソコンで編集等を行い、映像作品を制作します。そして、その作品を上映会にてプロの映画監督などが審査を行いコンクールを実施します。	中学生が参加しやすい日程への配慮や広報面で工夫を行います。	コンクールへの応募作品については若干減少したものの、過去に参加した中学生が、高校生・大学生になり、夏季の講習会でサポート役となり、中学生を始め、シニア・保護者へ向けたカリキュラムに主体的に参加し、世代を超えて映像を通じた学習や啓発への取り組みを進めました。	5年間という当初の事業計画期間の満了に伴い、平成25年度で終了とします。	地域振興課
6	友好都市交流事業	505,000	505,000	429,819	<ul style="list-style-type: none"> 区制15周年事業の一つとして平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業を継続し、両市区の交流をさらに深めていきます。長野県佐久市との交流を実施することで、互いの市にない要素を補完し合い、「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現を目指します。 民間交流事業委託:都市化が進む宮前区において、子供たちが佐久市での自然体験を通じ、里山保持、緑の回廊作りなどの重要性を学ぶ機会とします。運営は体験研修のプログラム作りや、参加者募集、引率など主体的に行える団体に事業委託します。(想定参加者40名、1泊2日。) 物産観光交流事業委託:両都市の観光物産交流を積極化させるため、宮前区観光協会に委託を行います。 	子どもたちが佐久市において自然体験等を行う民間交流事業及び区民祭への佐久市物産展誘致等を行う物産観光交流事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市民間交流事業については、委託先団体と随時適正に連絡調整を行い、57名の参加者を得て、8月24・25日に実施しました。 物産観光交流事業については、佐久市と適正に連絡調整を行い、良好な関係を構築し、区民祭への物産展誘致を行いました。りんごオーナーPRについては、12月のロビーコンサート時にりんごと募集チラシを配布をし、3月には市政だよりの宮前区版に掲載するなど適正かつ効果的に実施しました。 	各事業を通して、区民が佐久市の文化に触れるきっかけを提供し、一定の役割を果たすことができるよう今後も、物産観光交流と子ども自然交流を柱として交流を推進します。	地域振興課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
7	C級グルメコンテスト 事業	300,000	300,000	300,000	<p>宮前地場産農産物の振興を市民から図っていき、市民グループが結成され宮前市民館の市民提案型事業でいろいろな視点から事業を展開してきました。平成23年度に「みやまえC級グルメコンテスト」を区制30周年記念事業と一緒に開催しました。区の魅力発信や地場産農産物の振興に役立つため、今年度から地域課題対応事業として事業化されました。</p> <p>区内産の農産物を使ったグルメコンテストを実施し、一般の部のレシピ集を発行することにより、消費者の側から区内産農産物の活用を推進することで、一層の宮前地場産農産物の認知度を向上を図り、家庭の食卓や飲食店での活用を促進させます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区産の農産物を素材とした料理のコンテストを公募形式で行います。旬を考慮し、季節別に年2回コンテストを行います。各回一般市民部門とプロの料理家部門で行い、それぞれのグランプリ受賞作品は料理講習会で披露します。 第1回コンテスト:7月開催、5～6月公募。 第2回コンテスト:1月開催、11月公募。 応募のあったレシピについては、レシピ集を発行するほかHPなどで公表し広く周知を図ります。 グルメフォーラムを開催します。 	<p>料理コンテストは、第1回一般1作品、プロ7作品、第2回一般2作品、プロ3作品の応募があり、料理講習会は14人の参加がありました。レシピ集を1,500部作成し配布しました。グルメフォーラムを3月7日に開催し31人の参加がありました。フォーラムでは、第2回一般の部グランプリ受賞作品の料理講習会のあとプロの部グランプリ受賞作品出品者と熱心に取り組んでいる地元農家さんに参加いただき、参加者と宮前区の農業について話し合い交流を持ちました。参加者からは、生産者と消費者、飲食店などの一層の交流及び生産品の販路の確保・開発が必要であるなどの意見が出され、有意義な会となりました。</p>	<p>宮前区の地場産農産物の地産地消の促進を目的とし、区内産の農産物の周知をはかる事業や生産者と消費者、地域の飲食店などを結ぶコミュニティ事業などを行います。</p>	生涯学習支援課
8	宮前区サイン整備 計画事業	0	826,000	825,825	<p>区の計画策定に伴う課題抽出した中で、区内のサインについて様々な課題が見えたことから、今年度4月庁内ワーキングチームを設置し、課題解決に向けた検討を進めています。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内公共サインの実態調査等を行う。 区の魅力発信の手法としての公共サイン整備の考え方をまとめ、設置ルールを策定する。 魅力ある地域資源を効果的な情報発信につなげるため、関係する宮前区歴史文化調査委員会・まちづくり協議会等や公募も含め、市民の参加による検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区サイン整備計画基礎調査 市民検討会議準備(メンバー選定等) 市民参加による本調査方法の具体検討 サインの評価・改善方法等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区サイン整備計画基礎調査の現地調査の結果、以下の2点が明らかになりました。 ①宮前平駅周辺500m圏域では、主要な公共施設(警察署、消防署、区民センター等)への経路・行き方がないことから、駅から主要施設間への案内サインが必要であること ②平瀬川沿いお散歩コースでは、ランドマークの少ない細街路であり、分岐部にサインがないことから、少なくともスタート地点、中間地点でコースを確認できるように、簡易に設置可能なサインが必要であること 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内ワーキングチームを設置し、既存サインの評価・改善方法等の検討、ルールの作成などを行います。 市民検討会議を設置し、現地調査や具体的検討を実施します。 	企画課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
6 地域コミュニティ活性化推進事業									
1	まちづくり推進事業	3,835,000	3,835,000	3,753,170	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会が中間支援組織として、市民活動団体に対し資金面、情報面等で活動支援を行うとともに、団体同士の交流促進やネットワーク化を推進することで、市民活動の活性化を図ります。 ・まちづくり協議会自身が地域が抱える課題解決に取り組むことにより、区民主体のまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援機能を有するまちづくり協議会との協働によるまちづくりを継続して推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第8期の委員を募集し、新たに16名の公募委員が加わり、より幅広い区民参加のまちづくりを推進しました。 ・広報紙「まちづくり広場」を毎月発行し、区民に広く団体活動情報等を発信しました。 ・活動支援金を昨年度より3団体多い22団体に交付するとともに、団体の交流会を実施し、地域における市民活動の活性化を図りました。 ・HPの更新を随時行うとともに、新たにWebマガジンみやまえ@まち協を立ち上げ、より幅広いツールで市民活動等の情報を発信しました。 ・まちづくりウォーキングを2回実施し、市民活動団体や行政施設等に直接触れる機会を創出しました。 ・情報発信の連続講座を開催し、活動団体の情報発信支援を行いました。 ・太鼓ミーティングや防災フェアなど、協働のまちづくりを推進しました。 ・第8回フォトコンテストを開催し、区民の地域に対する意識向上を図りました。 ・第6回まちづくり広場ラブリみやまえを開催し、市民活動団体の交流や区民のまちづくり参加に対する意識向上を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援機能を有するまちづくり協議会との協働によるまちづくりを継続し、市民活動の活性化や地域コミュニティの推進に取り組んでいきます。 	地域振興課
2	まちづくり支援事業	2,789,000	2,789,000	2,788,800	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区まちづくり協議会活動及び市民活動団体の活動に対するコンサルティング業務の委託(事業提案、制度設計、講座企画、イベントの運営支援、情報提供、データ分析、ポスターデザイン、会議資料作成、事業報告書作成等) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮前区まちづくり協議会活動及び市民活動団体の活動に対するコンサルティング業務(事業提案、制度設計、講座企画、イベントの運営支援、情報提供、データ分析、ポスターデザイン、会議資料作成、事業報告書作成等)を通して、効果的・効率的なまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮前区まちづくり協議会の活動が、的確かつ効果的になるよう提案・助言、分析、情報提供等を行い、区民主体のまちづくり推進の支援を行いました。 ・宮前区まちづくり協議会の運営や会議について、円滑かつ効率的に行われるよう、進行や資料作成面等において支援を行いました。 ・イベントのチラシやポスター等について、より効果的にアピールができるようなデザインやレイアウトを提案しました。 ・ラブリみやまえでは、企画提案や資料作成、当日運営等において、実行委員会への支援を効果的に行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 区民主体のまちづくりを進めていく上で、まちづくり協議会・行政・コンサルの役割を明確にし、より計画的で効果的、効率的な事業推進を図っていきます。 	地域振興課
3	魅力あるスポーツ推進事業	1,771,000	1,771,000	1,750,000	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年12月にフロントタウンさぎぬまとまちづくり連携協定を締結し、区役所と様々な分野で連携することが可能となりました。また、平成24年9月に川崎市スポーツ推進計画が策定され、区民が気軽にスポーツを行うことのできる環境を整備すること、幅広い世代の区民がよりスポーツに親しめる環境を作ることが定められました。また、子供から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を実施することで様々なスポーツに親しめることを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①フロントタウンさぎぬまとの連携事業(グラウンドゴルフ大会、ポールウォーキング観戦ツアー等) ②トップアスリートを活用したスポーツ推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ①フロントタウンさぎぬまとの連携事業(グラウンドゴルフ大会及びビギナー大会80人、ポールウォーキング観戦ツアー30人、夏休みスポーツ体験250人) ②トップアスリートを活用したスポーツ推進事業(投げ方教室、トレーニング教室等計5教室、アンブティサッカー、走り方体験会等4体験コーナー合計368人) 	<ul style="list-style-type: none"> 2013年度はフロントタウンさぎぬまとの連携及びトップアスリート活用事業においても、前年よりも参加者数が倍増しており、より多くの区民にスポーツに親しむ機会を提供できました。東京オリンピック開催も決定しており、今後もスポーツを通して区民ニーズにあった事業を展開します。 	地域振興課
4	魅力あるスポーツ推進事業(局区連携事業)	3,327,000	3,327,000	2,180,850	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年9月に川崎市スポーツ推進計画が策定され、区民が気軽にスポーツを行うことのできる環境を整備すること、幅広い世代の区民がよりスポーツに親しめる環境を作ることが定められました。鷲ヶ峰西住宅公益用地を鷲ヶ峰けやき公園多目的広場として整備することで、区民が身近にスポーツができる場所を増やしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 鷲ヶ峰西住宅公益用地設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> 3回にわたり地元自治会長、スポーツ関係団体との説明会を行うことで、整備地周辺住民の意見を盛り込んだ設計ができました。また、整備後の管理運営についても地元自治会長を中心に前向きな意見が出ており、道路公園センターと連携し、地元での管理運営組織の立ち上げの準備ができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に多目的広場の工事委託、着工、完成を目指します。また平成26年12月を目途に地元管理運営体制の設立を目指します。 	地域振興課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
5	みやまえスポーツ ふえすていばる開催 事業	1,890,000	1,890,000	1,772,186	従来から宮前区内で行われてきた複数のスポーツ大会をスポーツ技術の向上、健康増進という共通の事業目的のもと関連した事業としてひとくくりにするるとともに、新規の大会についても企画し実施することで、区民に対してスポーツ参加意識の向上を図ってきました。歩こう会やデイスカパーウォークについては、区民同士のふれあいや、高齢者や若年層の健康増進を図ることが最大の目的となっており、広報を通じ多くの参加者を集めています。	スポーツ推進委員・青少年指導員と協力し、ニュースポーツ等の新事業への取組を検討します。	各種大会において継続して多くの参加者を集めており、チームを越えた区民同士の親睦の場を創造することができました。また宮前区ジュニアフットサル大会において、今年度より「得点王、最優秀GK」の表彰を設け、参加者の意識や競争性を高めることで競技レベルの向上を図ることができました。	現在、事業目標は例年ほぼ達成されており、今後も引き続き事業を継続していきます。	地域振興課
6	地域情報発信事業 (区民会議課題)	2,999,000	3,083,000	2,861,997	イベントや伝統行事などの地域活動や区が実施する取組を広く区民に広報する手段として、①地域イベントをまとめた情報紙の定期的な発行、②転入手続時に地域の魅力を知ってもらうため冊子の配布のほか、直接家庭に届く回覧物を、経費を削減しながら効果的に配布する施策として、③町内回覧物の一括配送業務を委託により実施しました。「宮前兄妹」および「カッチャン」は、宮前区の魅力をアピールするイメージキャラクターとして、区役所事業を始め様々なイベントに出演してきました。今後も活躍が期待されるため、洗浄等の定期的な実施が必要となります。	歳時記みやまへの発行回数を見直し、年6回とした上で、読者が求める情報の掲載に努めます。回覧物一括配送は毎月実施し、行政情報を効果的に配信します。ぐるっとみやまえ、ガイドマップを改訂増刷し、刊行物による情報発信の充実を図ります。	現在発行している刊行物の有効活用として、「歳時記みやまえ」掲載記事の精査、「ガイドマップ」の更新作業を実施しました。回覧物一括配送は有効な情報発信手段として、継続して取り組みました。区民の視点で情報を収集し発信するため、「情報ラボ」を創立、インターネットを活用した情報発信のひとつとして、IT版「ぐるっとみやまえ」を開設、最新情報の更新を続けています。	地域情報を発信する上では、冊子の発行は手軽な上、視覚的にも効果的な方法ですが、メディアおよび受け手の情報取得手段が多様化するなかでは、さらに効果的な手段の検討が必要となります。特にスマートフォンをはじめとするインターネットメディアでの情報発信を検討していくことが課題となります。	企画課
7	宮前ガイドマップ作成事業	993,000	896,000	754,425	道路や公園などの街なみや、バス路線、区内の主要施設の情報など、地図により宮前区を紹介することで、区民の利便性の向上を図ります。また、区内のイベントやスポット等を紹介することにより、宮前区への関心を高め、区のイメージアップを図ります。作成したガイドマップは、転入者を中心に配布し、区役所等公共施設での配架、区ホームページへの掲載を行います。	作成にあたり、ユニバーサルデザインが適用されているかどうか、市や印刷業者以外の外部機関において審査を行います。バス路線の変更や地図表示内容の名称変更や移転などについては、情報収集を行いながら最新の情報を反映させます。	一覧に掲載する施設の数が増え、文字が小さくなるなどの支障が出てきたことから、宮前区外で利用頻度が少ない施設や民間の施設など一部の情報を削除し、見やすい紙面となるように努めました。また、発行後すぐに新設・移設される施設の情報も掲載し、なるべく長い期間マップの利用が出来るように工夫しました。	「ガイドマップ作成事業」については「地域情報発信事業」に統合し、ガイドマップの作成にあたっては、区民の利便性の向上や区への関心を高める媒体として、より効率的な情報発信、内容について検討していくこととします。	地域振興課
8	多様な主体の社会 参加促進事業	470,000	470,000	470,000	区内小学生を対象に、公募した区内在住の成人・高齢者を中心とした遊びの達人による伝承遊びなど素朴な遊びを伝授する場を提供します。また、公募により集めた中学生や青年のボランティアに、小学生と遊びの達人をつなぐサポーターとしての参画を促し、全世代を対象とした世代間交流の場「あそびランド」を実施します。あそびランドの企画運営については公募による企画委員と協働により実施します。	・「遊びの達人」と称する、各世代を代表する遊び・ゲームの名人が遊びの紹介や競技を行うことで、世代間の交流と親交を深める(けん玉・お手玉・ベーゴマなど昔あそびの提供。六角箱や折り紙、竹とんぼや、ぶんぶんごま等を作って遊ぶコーナー等) ・外遊びの紹介等の実施。 ・ホールで遊ぼう(小学生や中学生の、ダンス等の活動の発表。)	事業開始当初は、雨模様でしたが、昨年並みの約3,000人が来場しました。当日の遊びの達人の方々や遊びのコーナーを担当した方々は約170人、当日ボランティアは、中学生から大学生まで約40人が、手伝ってくれました。参加した子供たちは、おじいちゃん、おばあちゃん世代の達人から昔遊びを教わったり、お兄さんお姉さん世代の学生さんと一緒に、氷の山や水鉄砲で遊んだり、知的障がい者と一緒に的当てをしたりと日頃触れ合うことのできない人たちとふれあい、交流することができ有意義な一日となりました。	引き続き、大人の遊びの達人や子育てに関わる団体、障がい者の団体など多様な主体と子どもたちや中学生・高校生、大学生のボランティアなどが関わり、交流できる事業を展開していきます。また、遊びの達人の養成・技術の継承のための講座を実施します。	生涯学習支援課
9	地域活動の促進に 向けた人材育成及 び推進体制の整備 事業	300,000	300,000	299,997	区の生涯学習推進会議にプロジェクトチームを設置し、区における地域人材の育成と活用の方策等について定めた「地域人材育成指針」を23年度末に策定しました。指針により区各課の連携によるモデル事業を実施し、その成果と課題を指針の見直しに反映します。	モデル事業「IT版情報サポーターズ講座」を実施します。また、事業実施と評価を通して「宮前区地域人材育成に係る基本指針」や「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の検証を行い、必要があれば宮前区生涯学習推進会議により修正していきます。区職員及び区内生涯学習関連施設職員向けに「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の活用研修を実施します。	「IT版みやまえ情報サポーターズ講座」は、9人が受講し、修了後受講者が宮前区の魅力を取材し、宮前区地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」の中に開設された「ぐるっとみやまえ」に記事を掲載しています。3月に区職員及び区内生涯学習関連施設職員向けに「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の活用研修を実施し、有意義な意見交換がなされました。	庁内生涯学習推進ワーキングを開催し、モデル事業について検討し、実施していきます。モデル事業実施と評価を通して「宮前区地域人材育成に係る基本指針」や「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の検証を行い、必要があれば宮前区生涯学習推進会議により修正していきます。区職員及び区内生涯学習関連施設職員向けに「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の活用研修を実施します。	生涯学習支援課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
10	市民活動支援拠点のネットワーク事業	609,000	609,000	550,422	<ul style="list-style-type: none"> 区内の市民利用施設を活用した市民活動拠点の有効利用促進のための情報収集や発信等の機能充実 区内の市民活動団体に関する情報発信等 区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの事務用機器賃借料支出 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動拠点の情報収集・発信 市民利用施設を紹介したマップ及び各支援コーナー登録団体を紹介した冊子の継続配布 区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの事務用機器賃借料支出 	<ul style="list-style-type: none"> 「宮前区市民活動応援マップ」及び「みやまえ市民活動のなかま」を継続配布し、広く区民に市民活動に対する情報を発信しました。 区民活動支援コーナーの情報を整理し、区HPや市政だより、宮前区まちづくり協議会の広報紙等に情報を掲載し、広く区民に市民活動に対する情報を発信しました。 区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの事務用機器を貸し出し、市民活動拠点をより多くの区民に活用してもらえるよう支援を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の活性化を図るため、区民活動支援コーナーの情報を積極的に発信するとともに、印刷機等の市民活動に必要な機器等を引き続き備え、市民活動を支援していきます。 	地域振興課
11	みやまえカルタ制作事業 (区民会議課題)	1,094,000	1,094,000	937,500	<ul style="list-style-type: none"> 第2期区民会議の提案により制作された「みやまえカルタ」について、その普及や活用促進を図ります。 「みやまえカルタ」を通して、区内の歴史や文化、伝統、行事、由来、自然、施設等について多くの区民に知ってもらい、地域への愛着心を育みます。 「みやまえカルタ」を地域や学校等において活用してもらうことで、区民の交流促進や地域コミュニティの活性化につなげていきます。 区内外にPRすることで、区民の誇りを高めるとともに、区のイメージアップを図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係課職員で構成される「みやまえカルタワーキング」を設立し、カルタの普及、活用方法等について検討・実施 地域や学校等における活用方法等についてのヒアリングを通して、事業展開の検討 各種イベント等におけるカルタ大会開催やカルタ展示等を通しての普及促進 カルタの増刷及び学校等への配布 区カルタの庁舎内売店での販売委託 	<ul style="list-style-type: none"> 「野川ふるさとカルタ」を野川中学校区版の地域カルタとしてデザインを変更し、8中学校区の地域カルタを完成させました。 カルタの貸出しや販売を通して、学校や町内会、地域の団体等に対してカルタの周知を行うことができました。 貸出しの際のルールを明確にするため、貸出し要綱を制定しました。 イベントでの展示・PRのほか、区役所会議室前や向丘出張所において展示を行い、広くカルタの周知を行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 「みやまえカルタ」に関する情報発信のツールを更に充実させるとともに、学校や地域等におけるカルタの活用についての支援等について検討していきます。 	企画課
12	冒険遊び場活動支援事業 (区民会議課題)	895,000	895,000	625,823	<ul style="list-style-type: none"> 身近な公園を活用し、地域住民が主体となり、冒険遊び場を実施することにより、子どもが自由な発想で遊びを創り出し、怪我などの責任も含めて自由に遊ぶことのできる次世代育成の場づくりを目指します。 また、地域主体の冒険遊び場活動に、若い世代の父親や昔の遊びを経験しているシニア世代の父親や昔の遊びを経験しているシニア世代など多様な世代が関わることで、地域コミュニティの活性化を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規グループの立ち上げ支援と既存グループの活動支援 冒険遊び場シンポジウム・出張冒険遊び場の実施 地域における担い手の育成 広報・啓発活動の充実 活動グループによる冒険遊び場ネットワーク会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始から3年が経過し、登録団体は5団体となりそれぞれの地域で活動を継続して実施しています。区民祭や区内2ヶ所で開催した出張冒険遊び場や、通信の発行、イベントでの広報活動の実施等により、「子どもの外遊び」についての関心が高まっており、「冒険遊び場シンポジウム」では100余名の区民が集まりました。登録団体による、同じ場所での定期的開催の継続により、「冒険遊び場」が浸透し、活動を楽しみにしている区民も増えています。3年間行政と協働で事業を進める中で、今後の活動の核となるリーダーが育成されていきました。今後はそのリーダーをサポートする担い手の育成が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の運営等を「かわさき冒険遊び場ネットワーク」に委託し、登録団体や支援者有志等で「ネットワーク会議(仮)」を結成し事業を推進していきます。行政は広報活動や人材育成、「ネットワーク会議(仮)」の育成支援を行っていきます。 	子ども支援室
13	宮前区誕生30周年記念事業	986,000	986,000	985,294	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年(2012年)7月1日に区制30周年を迎え、新たな飛躍に向けた節目の年と位置付け、区民の皆さんとともにこれを祝い、これまで培ってきた歴史・文化・地域の魅力を再発見するとともに、これを広く区内に発信した誕生30周年記念事業の総括として、記念イヤー(平成24年1月～25年3月)に多様な主体により実施された記念式典を写真と文章でまとめた記録誌を制作し、30周年を迎えた宮前区内の表情を後世に伝えることにより、区民としての誇りや一体感の醸成を図り、さらなる区政発展の契機とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生30周年記念事業の総括として、記念イヤー(平成24年1月～25年3月)に多様な主体により実施された記念式典をはじめとする多彩な記念事業の記録を写真と文章でまとめた記録誌を制作します。 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生30周年記念事業の総括として、多様な主体により実施された記念式典をはじめとする多彩な記念事業の記録を、写真と文章でまとめた記録誌を制作し、事業の振り返りを行いました。また、30周年を迎えた宮前区の表情を記録誌として、後世に残すことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定通り、「宮前区誕生30周年記念」記録誌を制作したため、事業は終了します。 	地域振興課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課
14	坂道を活かした活力づくり事業 (区民会議課題)	1,220,000	1,220,000	1,218,175	平成24年度事業提案制度にて坂道ウォーキング教室が提案され、地域の課題解決を図る事業提案制度事業により事業化しました。 平成25年度は、坂道を歩くことを苦としないトレーニング、ポールを使ったウォーキング講座を行いました。 坂道を区の魅力として捉え、「みやまえ坂道ウォーク」を活用しながら、健康づくりやコミュニティづくりにつなげるため、坂道を活かしたまちづくりを推進します。	・ノウハウを持っているフロンタウンさぎぬまに坂道もらくらくウォーキング教室を委託し、より多くの区民が健康的に坂道を上り下りできるよう支援します。 ・「みやまえ坂道ウォーク」を増刷します。	平成25年度は全38回の教室を開催し、のべ400人の参加者がありました。また、参加者に「みやまえ坂道ウォーク」の冊子を配布して、坂道に対して親しめる機会を設けました。 第4期宮前区区民会議主催のイベントと連携してみやまえ坂道ウォークを活用したラリーを実施し、坂道ウォーク読者の自発的なウォーキングにつなげる機会を提供しました。	坂道もらくらくウォーキング教室は、フロンタウンさぎぬまとの連携によるプログラムであることから、教室を「魅力あるスポーツ推進事業」に組み込み一体的な取組とすることで、より多くの区民が坂道に親しめる機会を作ります。	企画課
15	宮前区民祭用資機材管理事業費	0	1,484,000	1,417,395	北部市場で工事が行われることに伴い、区民祭の資機材を保管している倉庫についても移設する必要が生じたため、整備を行います。	26年度以降の区民祭開催に向けて倉庫を整備します。	近隣住民の同意を得て、向丘出張所の敷地内に区民祭用資機材保管庫を設置し、資機材を運搬・移動しました。	倉庫の整備が完了したため、予定通り事業を終了します。	総務課

平成25年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

N O	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	25年度の取組	成果	26年度以降の事業の方向性	担当課	
7 区役所サービス向上事業										
1	宮前区役所BGM配信事業	42,000	71,000	70,350	BGMを庁舎内に流すことにより、庁舎全体に明るく穏やかな雰囲気を作ることができ、心にゆとりと潤いを持つことで、来庁する区民と職員との間に良好なコミュニケーションが生まれ、窓口サービスの向上につながります。また「音楽のまち・川崎」の推進に寄与します。	季節感を十分に取り入れた音楽を委託業者と協議し、来庁者に待ち時間を有意義に過ごしていただき、快適な空間を提供します。	庁舎内にBGMを流すことにより、単に行政上の申請等を行う場としての区役所にとどまらず、区役所を区民にとって身近で明るく親しみのある場所として提供できました。	音楽配信業者の選定については、多くのノウハウを持つ業者の選定を行います。また安価で操作等に多くの時間を必要としない作業内容を検討します。平成14年の機器の設置から12年を経過することから、必要に応じた機器保守に係る予算の確保について検討します。	総務課	
2	バリアフリー推進事業	1,930,000	3,696,000	3,696,000	区役所や隣接する市民館・図書館を利用する区民や庁舎敷地内を通行する歩行者が、雨や雪の降る日も滑ることもなく、安全で安心して通行できることを目的とし、タイルのノンスリップ化を実施します。	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場南側の通路部分をノンスリップ化するとともに、色違いのタイルを使用することで通路であることを明確にします。	ノンスリップタイル化により来庁者に対する安全性および区民サービスが向上しました。また、工事内容・期間・範囲等施行業者と確認を行い、仕様書等に沿って適正に工事を実施することが出来ました。	引き続き、優先順位などの検討を行った上で、事業を進めていきます。	総務課	
3	窓口サービス向上事業	203,000	203,000	186,063	・来庁者に対し親切・丁寧なサービスを行い、区役所をより満足度が高く快適に利用していただくため、毎年、区役所内でワーキングチームを募集・結成し、当該単年度の施策について検討していきます。 ・個人情報の適正な管理及び公平、公正、効率的な事務執行により、区民から安心、信頼される区役所サービスを提供できるよう継続的な取組を行います。 ・研修の充実・強化により、職員のレベルアップ及び組織の活性化を促し、より質の高いサービスを提供できる組織づくりを推進します。	「絵本コーナー」や「ようこそセット」は区民に大変好評でよく利用されており、引き続き行います。また、戸籍窓口の段差解消を図るため、丈の高いスタッキングチェアを導入します。更に、番号呼出システムの改善について検討を行います。	夏場の来庁者向けに団扇型の番号札の作製を行い、絵本については、15冊入れ替えました。また、転入者に配布している「ようこそセット」に宮前区長のあいさつと区役所の事業案内を入れ、区民サービスの向上を図ることができました。更に、戸籍窓口の段差解消を図るため、丈の高いスタッキングチェアを導入しました。また、現行の呼出し番号表示システムを見直し、宮前区にふさわしい、より良い新たなシステムの無償での導入を区民課と保険年金課の両課分について決定することができました。	「絵本コーナー」や「ようこそセット」は区民に大変好評でよく利用されています。また、戸籍窓口の段差解消を図るため、丈の高いスタッキングチェアを導入していきます。今後も引き続き、待合スペースの環境整備の充実が必要と考えます。	区民課	
4	区役所サービス向上推進事業	3,588,000	5,451,000	5,450,550	宮前区総合庁舎は建設から30年が経過し、庁舎の汚れ等が多々見受けられます。又、区役所サービス向上を目的とする組織である区役所サービス向上委員会ワーキンググループからも庁舎内が暗いという改善を必要とする意見が纏まっています。平成23年度に区役所1階保健福祉センター、平成24年度に区役所2階フロアの壁紙張替を実施し、フロア照度の改善が出来、サービス向上を図ることが出来ました。現状では庁舎の一部のみの改善に留まっており、今後残りのフロアの改善を実施し、快適な庁舎利用及びサービス向上を図ります。	1階、3階及び4階の壁紙の張替を行います。	庁舎全体の壁紙張替により、フロア照度が改善され庁舎利用に際する不快感を取り除き、快適な庁舎利用及びサービスを向上することが出来ました。また、工事内容・期間・範囲等施行業者と確認を行い、仕様書等に沿って適正に工事を実施することが出来ました。さらに、区役所庁舎1階の床張替、庁舎内案内表示の改修を実施しました。	庁舎各階の床の状況等を把握し、安全性を重視し来年度以降の実施計画が円滑に進むよう取り組みます。	総務課	
8 その他										
1	管理運営経費	620,000	620,000	558,569	地域課題対応事業における事務経費					
2	緊急対応費	4,422,000	0	0	緊急的な事業に対応するための経費					
3	地域の課題解決を図る事業提案制度事業	1,000,000	507,000	259,081	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議から提案された課題の解決や地域の課題解決に取り組む団体等を広く募集し、区役所がその取組を委託、事業補助などの手法で支援します。	「地域の課題解決を図る事業提案制度」は団体からの提案を受け、要綱に基づく審査等を行い、提案団体との協働により事業を実施します。本事業の目的は区民会議を充実させることなど、他の仕組みを機動的に運用することで補完可能であることから、平成25年度末をもって事業を廃止します。	提案団体に対して平成25年度末での事業終了を説明しながら、事業を実施しました。	要綱廃止について、庁内外の手続き及び調整を完了したため、事業終了とします。	企画課	
合計		70,550,000	70,550,000	64,935,162						